

COOP SHIGA CSR REPORT 2023

copeしがCSRレポート2023



CONTENTS

理事長あいさつ 02

特集

2030年ビジョン実現に向けた取り組み

～copeしがの2022～ 03-04

copeしがのCSR 05-06

copeしがの事業紹介 07-08

2022年度活動報告

「たべる」たいせつ 09-10

「くらし」たいせつ 11-12

「ちいき」たいせつ 13-14

「びわこ」たいせつ 15-16

「いのち」たいせつ 17

県内自治体との協定・覚書一覧 18

copeしがの組織概要

事業における環境報告 19

環境に配慮した商品の普及実績 20

copeしがの概要／事業所一覧 21

copeしがのグループ会社 22

編集方針

「copeしがCSRレポート」は、copeしがが果たすべき社会的責任 (Corporate Social Responsibility:CSR) と社会課題解決のために行っている取り組みを、幅広いステークホルダーのみなさまにご理解いただくことを目的に発行しています。

2008年の発行から数えて16回目となる今回は、独自視点の「5つのたいせつ」に基づいた構成とし、copeしがの活動をより分かりやすくお伝えすることを心かけました。

copeしが理念「ともにつくる 笑顔あふれる未来」のもと、持続可能な社会の実現に向けてどのような取り組みを行っているのか。掲載は活動の一部ですがみなさまにご覧いただければ幸いです。

「みんなごと」をすすめて、
ともにつくる笑顔あふれる未来へ

2023年3月、生活協同組合copeしがは設立30周年を迎えました。おかげさまで、設立当時7万人だった組合員数は22万人に広がりました。今日まで組合員、役職員、お取引先、関係する諸団体のみなさまのご協力やご支援のもと、生協運動をすすめてこられたことに深く感謝し心からお礼申し上げます。

2022年度は内外の情勢から物価が高騰し、組合員のくらしさが厳しさが増しています。組合員のくらしを守る砦として、知恵と工夫を凝らして様々な取り組みをすすめましたが、さらなる役割発揮が必要であったと認識しています。一方で地域に目を向けると、格差問題や生活困窮、孤立などが顕在しており、このような社会課題に対して地域のセーフティーネットの一つとしてcopeしがの特性を活かせないかと考えています。その実践に向けて、多くの市町や社会福祉協議会と“copeしがの事業や活動を通して、一緒に地域を見守ることを趣旨とした協定”の締結をすすめることができました。

copeしがは、世界105か国に広がる協同組合の国際組織(ICA)の「協同組合のアイデンティティ・価値・原則」にある「第7原則：コミュニティへの関与」が重要であると考えています。2030年に向けたビジョン「やくだつ・つながる・ひろがる」には、組合員のくらしへの役立ちを高めるために、コミュニティの持続的な発展に、copeしがが関わり寄与することを掲げ、理念「ともにつくる 笑顔あふれる未来」を目指しています。

とりわけ設立から30年の節目となる今年は、「みんなごと」をあいことばに事業・活動・運営をすすめてまいります。自分のことではないことは、他人ごととして切り分けてしまうような世相があるように思えます。日常において、「他人ごと」にしてしまっていることがあるのでしょうか？あらためて「みんなごと」という意識をもって、関わることを避けずに「受け止める」、そして「みんなで解決していく」。一人ひとりが、このような習慣を身につけて、地域とともに未来を展望できる生活協同組合copeしがへ、勢いをつけていきたいと考えています。

引き続きcopeしがへの、みなさまのご理解とお力添えをよろしくお願いします。

理事長 白石一夫

